

ランドスケープ調査特論演習 (2単位)

担当者氏名 鈴木貢次郎・麻生恵・荒井 歩・金子忠一・服部勉・鈴木誠・高橋新平・濱野周泰・山崎元也
水庭千鶴子・粟野隆・阿部伸太・國井洋一

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

環境問題は、今や国境を超えて起きている。中でも「緑地」に関わる問題など生物学的な発想に基づく環境問題への対応が急務である。本演習では、造園学をグローバルスタンダードで究めていくために、国内外を越えて研究を行うための調査、分析を行う。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

_____ フィールド _____ 国際 _____ デザイン _____ 都市 _____
_____ 植物 _____ 景観 _____ 環境 _____ 材料 _____

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	ガイダンス	・現地調査のテーマ、その調査方法の説明。	本演習のねらいは、今や国際的に問題になっている環境問題を体験的に知り、各自の研究内容をより高めることにある。そのためにも調査目的、調査項目を明確するために、事前準備を十分に実施し、調査が円滑に出来る体制をつくること。
2	予備調査①	・調査場所の文化や風土（地理、気候）、歴史、現代	
3	予備調査②	の造園について学習する。	
4	予備調査③	・現地調査に必要な目的を策定する。	
5	予備調査④	・現地調査で必要となる項目の検討を策定する。	
6	現地調査①	・対象地域でのフィールド調査、討論①	
7	現地調査②	・対象地域でのフィールド調査、討論②	
8	現地調査③	・対象地域でのフィールド調査、討論③	
9	現地調査④	・対象地域でのフィールド調査、討論④	
10	報告書まとめ①	・調査結果のまとめ、資料収集①。	
11	報告書まとめ②	・調査結果のまとめ、資料収集②。	
12	報告書まとめ③	・調査結果のまとめ、資料収集③。	
13	報告書まとめ④	・調査結果のまとめ、資料収集④。	
14	プレゼンテーション①	・調査結果の報告、発表①。	
15	プレゼンテーション②	・調査結果の報告、発表②。	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）造園用語辞典/東京農業大学造園科学科編/彰国社

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

現地調査を行った結果の報告と、その発表による（100%）

◆オフィスアワー

授業終了時に相談することを基本とする。または造園科学科の担当科目を参照のこと

◆その他受講上の注意事項

実施期間は、夏季(8～9月)、または春季(2月下旬～3月上旬)のいずれか1回の集中で行う。参加費（渡航費）は、自己負担になる。渡航先などは、実施する半年前に公表する予定である。